

# 福祉保健生活環境委員会 県内所管事務調査の概要

【令和2年12月7日（月）】

## ◆調査箇所：県防災センター

＜概要＞

令和元年5月に県庁舎本館6階に災害対策本部、防災センター及び防災局を移設した。

新防災センターの面積は従来の約2.2倍、収容人数は約3.2倍である。大型タッチパネルPCなどの最新設備を有するほか、災害発生時に自衛隊等の防災関係機関や他県からの災害支援部隊が活動できるスペースも備えられている。

今回の調査では、センター内設備の視察及び7月豪雨の際の対応について説明を受け、防災体制の現状について調査を行った。



## ◆調査箇所：災害対策本部会議室

＜概要＞

令和2年3月に県庁舎本館6階に災害対策本部会議室を移設した。

新災害対策本部会議室の面積は、従来の約1.7倍、収容人員は約1.6倍で、災害現場等のリアルタイムの映像を会議室のモニターにて視聴可能で、テレビ会議システムも常設となり、情報共有を円滑に行うことができるようになった。

また、防災局では、災害を実体験することが防災意識を高める上で有効なことから、昨年度は「地震編」「津波編」「土砂災害編」の3本のVR映像を制作し、今年度は「洪水・浸水害編」「台風編」の2本のVR映像が完成する予定である。

今回の調査では、会議室内設備の視察及び県で昨年度制作したVR映像をヘッドマウントディスプレイで視聴し、防災意識の向上に向けた取組について調査を行った。

＜主な質疑等＞

- ・ 県庁舎の地震対策について
- ・ VR映像の普及啓発方法について

